

マナーキッズテニス教室指導者の皆様方へ

本日は教室開講に当たり、皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

今回ご指導あたる皆様に、簡単な留意・注意事項を列記いたしますので、参考にして下さい。

1. 本教室の目的

幼稚園児・小学生を対象にテニスの楽しさを体験させながら、正しいお辞儀、挨拶の仕方を指導するものです。鈴木総師範の指導をとおして、今回の受講することもたちが少しでも私たちの理想とする姿—正しい姿勢で大きな声で挨拶・お辞儀ができる—に近づくことを目的とします。

2. 鈴木総師範のマナー指導

- ① 指導者に開講前に正しいお辞儀、挨拶の仕方及び心構えの指導があります。
コートの中では、それぞれの指導者が礼儀作法の先生になります。そのことを意識して下さい。
- ② 総師範から子どもたちを対象に約 10 分間、三つのマナーの話、正しいお辞儀、挨拶の仕方のご指導があります。それをよく見聞きして自分のものにして下さい。

3. マナーキッズテニス教室での指導のポイント

- ① 指導者の服装
原則としてオーソドックスなテニスウェア-の着用、スポーツマンとして清潔な身だしなみをお願いいたします。指導中は帽子をかぶらないで下さい。また、体育館用のシューズをお願いします。
- ② 挨拶の基本
挨拶は、正しい姿勢で大きくはっきりした声で行い、その後に正しいお辞儀をする。その前後に優しい表情で相手の目を見ることが大切です。(残心)
- ③ プレー開始
 - I. ラケットを持たずにネットの近くに横一列に整列させて下さい。
 - II. 代表の人が列の一步前に進み出て「宜しくお願いします。」と挨拶します。
次に、残りの全員で声を揃えて「宜しくお願いします。」と挨拶をします。
その後に、全員で正しいお辞儀を行います。
大きな声で全員が揃うまで何度でもやり直させてください。

4. プレー中

- ① 子どもたちは、縦2列で順番を待ちます。その時、ラケットの丸い方を上にして左手で脇に抱えて（図1）、「宜しくお願いします。」と言ってお辞儀をします。
- ② 指導者は球出したら大きな声で「交代」と言って下さい。そのとき子どもは「有り難うございました。」と言ってお辞儀をして交代します。指導者は子どもたちの発声の後に、「宜しくお願いします。」「有り難うございました。」と大きな声で挨拶をお願いします。
- ③ 球出しのボールは子どもたちが打ちやすく、1球でも多く打てるように工夫をお願いします。プレーが終わったらその都度、子どもたちにボール拾いをさせて下さい。
- ④ 練習が進むとラリーの目標を設定して、1～5年生は「一回」、6年生は「二回」ネットを超えれば合格とします。握手をして次の段階の目標を設定し、指導者に申告させて下さい。達成すればまた同じことを繰り返して下さい。
- ⑤ 子どもたちは、待っているときラケットの丸い方を上にして、ダッコして壁に近いところで待ちます（図2）。約束の守れない子は大きな声で注意し、メリハリのある対応をお願いします。
- ⑥ 子どもたちには、「ナイスショット」「上手!」と褒めて下さい。



* 図1 *



* 図2 *

5. プレー終了

30分に1回休憩をとります。そのときラケットは、ネットの横に音をさせないようにそっと置きます。次に、子どもたちは横一列に整列します。つぎの代表者が「有り難うございました。」と発声し残りの子どもが声を揃え「有り難うございました。」と発声し、お辞儀をします。

(以上)